

㈱三菱ケミカルホールディングス 平成24年3月期 第1四半期連結決算概要

1. 業績

主要前提

	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	
換算為替レート	82	91	円/米 \$
ナフサ単価(国産)	59,200	49,600	円/KL

<参考>

5/11発表 上期予想	
85	円/米 \$
62,000	円/KL

①損益計算書 (億円)

	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	増減
売上高	7,724	7,762	△ 38
営業利益	598	608	△ 10
金融収支	△ 10	△ 14	4
持分法損益	53	40	13
営業外損益	△ 25	△ 36	11
経常利益	616	598	18
特別利益	(*1) 47	15	32
特別損失	(*2) △ 124	△ 70	△ 54
税引前利益	539	543	△ 4
税金費用	△ 184	△ 189	5
少数株主損益調整前 四半期純利益	355	354	1
少数株主損益	△ 110	△ 109	△ 1
四半期純利益	245	245	0
包括利益	495	306	189
親会社株主に係る包括利益	376	205	171
少数株主に係る包括利益	119	101	18

<参考>

5/11発表 上期予想	進捗率
16,800	46%
810	74%
△ 40	
90	
△ 70	
790	78%
20	
△ 160	
650	83%
△ 220	
430	
△ 170	
260	94%
-	
-	
-	

(*1) 投資有価証券売却益(+18)、受取和解金(+15) 他
 (*2) 東日本大震災による損失(△67)、減損損失(△29)、投資有価証券評価損(△17) 他

②セグメント別売上高 (億円)

	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	増減
エレクトロニクス・アプリケーションズ*	365	440	△ 75
デザイン・マテリアルズ	1,688	1,617	71
機能成形	1,173	1,076	97
機能化学	515	541	△ 26
ヘルスケア	1,252	1,322	△ 70
医薬品	1,022	1,088	△ 66
診断検査・医薬原体	230	234	△ 4
ケミカルズ	2,187	2,073	114
基礎化学品	1,474	1,524	△ 50
炭素	713	549	164
ポリマーズ	1,781	1,798	△ 17
ポリオレフィン/その他合成樹脂	1,039	1,149	△ 110
MMA及びアクリル樹脂	742	649	93
その他	451	512	△ 61
合計	7,724	7,762	△ 38

<参考>

5/11発表 上期予想	進捗率
800	46%
3,500	48%
2,400	49%
1,100	47%
2,400	52%
1,950	52%
450	51%
5,000	44%
3,550	42%
1,450	49%
4,050	44%
2,500	42%
1,550	48%
1,050	43%
16,800	46%

*セグメント中の内訳は、説明を目的とした概算値であります。

③セグメント別営業利益 (億円)

	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	増減
エレクトロニクス・アプリケーションズ*	1	29	△ 28
デザイン・マテリアルズ	100	99	1
機能成形	55	35	20
機能化学	45	64	△ 19
ヘルスケア	247	290	△ 43
医薬品	238	272	△ 34
診断検査・医薬原体	9	18	△ 9
ケミカルズ	160	121	39
基礎化学品	101	52	49
炭素	59	69	△ 10
ポリマーズ	114	94	20
ポリオレフィン/その他合成樹脂	18	52	△ 34
MMA及びアクリル樹脂	96	42	54
その他	△ 2	△ 4	2
コーポレート	△ 22	△ 21	△ 1
合計	598	608	△ 10

<参考>

5/11発表 第1四半期 予想	5/11発表 上期予想	進捗率
△ 5	0	-
75	170	59%
30	70	79%
45	100	45%
130	270	91%
125	250	95%
5	20	45%
130	200	80%
90	120	84%
40	80	74%
75	200	57%
△ 20	10	180%
95	190	51%
△ 5	10	-
△ 20	△ 40	55%
380	810	74%

*セグメント中の内訳は、説明を目的とした概算値であります。

震災影響	△ 123	-	△ 123
震災影響除き	721	608	113

△ 157	△ 242
537	1,052

受払差	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	増減
ケミカルズ(基礎化学品)	46	12	34
ケミカルズ(炭素)	21	12	9
ポリマーズ(Pa/樹脂)	57	31	26
合計	124	55	69

④キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	財務諸表ベース		手元運用資金を除く実質	
	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	H24/3月期 第1四半期 手元運用資金 △242億円	H23/3月期 第1四半期 手元運用資金 △48億円
営業活動によるCF	585	757	585	757
税前損益	539	543	539	543
減価償却費	351	356	351	356
のれん償却額	31	31	31	31
営業債権債務	306	△15	306	△15
棚卸資産	△332	21	△332	21
その他	△310	△179	△310	△179
投資活動によるCF	54	△197	△188	△245
設備投資	△276	△254	△276	△254
投融資 他	330	57	88	9
FCF	639	560	397	512
財務活動によるCF	△827	△544		
有利子負債	△661	△439		
配当 他	△166	△105		
現金及び現金同等物の増減	△188	16		
現金及び現金同等物期末残高	1,282	1,119		

⑤貸借対照表

(億円)

(億円)

	H23/6月末			H23/3月末			増減
	H23/6月末	H23/3月末	増減	H23/6月末	H23/3月末	増減	
現預金	1,340	1,302	38	12,387	13,046	△659	
たな卸資産	5,215	4,851	364	4,087	3,784	303	
営業債権	5,970	5,972	△2	4,859	4,970	△111	
その他流動資産	1,529	1,842	△313	21,333	21,800	△467	
流動資産計	14,054	13,967	87	8,280	8,088	192	
固定資産	11,533	11,604	△71	△376	△505	129	
のれん	1,517	1,548	△31	3,588	3,557	31	
投融資等	5,721	5,821	△100	11,492	11,140	352	
固定資産計	18,771	18,973	△202				
資産合計	32,825	32,940	△115	32,825	32,940	△115	
有利子負債(含割手)				12,387	13,046	△659	
D/Eレシオ				1.57	1.72	△0.15	
※ネット有利子負債				9,825	10,087	△262	
ネットD/Eレシオ				1.24	1.33	△0.09	
自己資本				7,904	7,583	321	
自己資本比率				24.0%	23.0%	1.0%	

※ネット有利子負債
=有利子負債(含割手)12,387億円-(現金・現金同等物1,282億円+手元運用資金残高1,281億円)

⑥包括利益計算書

換算為替レート(円/\$)	10/12E	09/12E	81.5	92.1
	11/3E	10/3E	83.2	93.0
換算為替レート(円/€)	10/12E	09/12E	107.9	132.0
	11/3E	10/3E	117.6	124.9

(億円)

	H24/3月期 第1四半期	H23/3月期 第1四半期	増減
四半期純利益	245	245	0
少数株主持分損益	110	109	1
少数株主持分損益調整前四半期純利益	355	354	1
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△30	△117	87
繰延ヘッジ損益	△1	△9	8
為替換算調整勘定	157	75	82
在外子会社の年金債務調整額	3	2	1
持分法適用による持分相当額	11	1	10
その他の包括利益合計	140	△48	188
包括利益	495	306	189
親会社株主に係る包括利益	376	205	171
少数株主に係る包括利益	119	101	18

2. 業績予想修正

最近の業績の動向等を踏まえ、5月11日の決算発表時に公表いたしました上期及び通期の連結業績予想を次の通り修正いたします。
なお、下期の連結業績予想につきましては、5月11日公表予想から修正を実施しておりません。

主要前提

	8/1発表業績予想			5/11発表業績予想			H23/3月期
	第1四半期実績	第2四半期	上期	上期	下期	通期	上期
換算為替レート	82	81	82	85	85	85	91
前提ナフサ単価(国産)	59,200	56,000	57,600	62,000	62,000	62,000	46,200

円/米\$
円/KL

①損益計算書

	8/1発表業績予想					5/11発表業績予想			(億円)	<参考> H23/3月期 上期実績
	第1四半期実績	第2四半期	上期	下期 (5/11発表)	通期	上期	下期	通期	上期/通期 増減	
売上高	7,724	8,176	15,900	19,000	34,900	16,800	19,000	35,800	△ 900	15,647
営業利益	598	362	960	1,250	2,210	810	1,250	2,060	150	1,114
金融収支	△ 10	△ 30	△ 40	△ 50	△ 90	△ 40	△ 50	△ 90	0	△ 48
持分法損益	53	37	90	80	170	90	80	170	0	62
その他営業外	△ 25	△ 45	△ 70	△ 20	△ 90	△ 70	△ 20	△ 90	0	△ 64
経常利益	616	324	940	1,260	2,200	790	1,260	2,050	150	1,064
特別利益	47	13	60	70	130	20	70	90	40	35
特別損失	△ 124	△ 46	△ 170	△ 160	△ 330	△ 160	△ 160	△ 320	△ 10	△ 161
税引前利益	539	291	830	1,170	2,000	650	1,170	1,820	180	938
税金費用	△ 184	△ 106	△ 290	△ 350	△ 640	△ 220	△ 350	△ 570	△ 70	△ 280
少数株主損益調整前 当期純利益	355	185	540	820	1,360	430	820	1,250	110	658
少数株主損益	△ 110	△ 70	△ 180	△ 280	△ 460	△ 170	△ 280	△ 450	△ 10	△ 219
当期純利益	245	115	360	540	900	260	540	800	100	439

②セグメント別営業利益

	8/1発表業績予想			5/11発表		(億円)	<参考> H23/3月期 上期実績
	第1四半期実績	第2四半期	上期	上期	上期 増減		
エレクトロニクス・アプリケーション*	1	△ 11	△ 10	0	△ 10	32	
テサイント・マテリアルズ	100	90	190	170	20	208	
機能成形	55	40	95	70	25	81	
機能化学	45	50	95	100	△ 5	127	
ヘルスケア	247	113	360	270	90	446	
医薬品	238	102	340	250	90	421	
診断検査・医薬原体	9	11	20	20	0	25	
ケミカルズ	160	80	240	200	40	219	
基礎化学品	101	39	140	120	20	87	
炭素	59	41	100	80	20	132	
ポリマーズ	114	106	220	200	20	243	
ポリオレフィン及びその他合成樹脂	18	12	30	10	20	112	
MMA及びアクリル樹脂	96	94	190	190	0	131	
その他	△ 2	12	10	10	0	6	
コーポレート	△ 22	△ 28	△ 50	△ 40	△ 10	△ 40	
合計	598	362	960	810	150	1,114	

※セグメント中の内訳は、説明を目的とした概算値であります。

震災影響	△ 123	△ 32	△ 155	△ 242	87
震災影響除き	721	394	1,115	1,052	63

3. トピックス

①設備の新増設

(デザイン・マテリアルズ)

- 三菱樹脂㈱が、同社の坂出工場(所在地:香川県坂出市)におけるアルミナ繊維「MAFTEC®」の製造設備の増設を発表(生産能力:年産4,800トンから年産5,600トンへ増強)。(4月)

(ポリマーズ)

- 三菱化学㈱が、タイ王国において、塩ビコンパウンド製造設備の増設(年産能力:年産15,000トンから年産19,000トンへ増強)を発表。(5月)
- 三菱化学㈱が、オレフィン系熱可塑性エラストマー及び接着性樹脂について、中国における製造設備の新設(生産能力:年産4,500トン)及び米国における製造設備の増強(生産能力:年産9,200トンから11,000トンへ増強)を発表。(5月)
- 三菱レイヨン㈱が、サウジ基礎産業公社(本社:サウジアラビア王国・リヤド市)との間で、サウジアラビア国内にMMAモノマー(生産能力:年産25万トン)及びアクリル樹脂成形材料(生産能力:年産4万トン)を製造する合弁会社設立を目的とする契約を締結することに合意。(5月)

②事業提携・再編等

(デザイン・マテリアルズ)

- 三菱化学㈱が、ステラケミファ㈱(本社:大阪市中央区)とリチウムイオン電池用電解液の主原料である電解質の欧米における製造拠点の新設等を含む事業提携の検討に着手することに合意。(6月)

(ヘルスケア)

- 田辺三菱製薬㈱が、同社の子会社である㈱ベネシスと日本赤十字社(本社:東京都港区)の血漿分画事業部門との統合に向け、日本赤十字社と検討を開始することに合意。(6月)

(ポリマーズ)

- 三菱化学㈱が、生分解性プラスチック(GS Pla®)の海外事業展開に向け、タイ石油公社(本社:タイ王国・バンコク市)と合弁会社を設立したことを発表。(4月)
- 三菱化学㈱が、生分解性プラスチック(GS Pla®)の植物原料化に向け、植物由来のコハク酸の供給、研究開発及び製造について、BioAmber社(本社:カナダ・モントリオール市)及び同社に出資している三井物産㈱(本社:東京都千代田区)と提携したことを発表。(4月)
- 三菱化学㈱が、Genomatica社(本社:米国・サンディエゴ市)と、植物原料から1,4ブタンジオール等の化学品を生産する技術を共同で研究開発すること等について合意。(4月)

4. 参考

主要前提

	8/1発表業績予想			5/11発表	円/米\$	H23/3月期
	第1四半期実績	第2四半期	上期	上期予想		上期
換算為替レート	82	81	82	85		91
前提ナフサ単価(国産)	59,200	56,000	57,600	62,000	円/KL	46,200

セグメント別売上高

	8/1発表業績予想			5/11発表	(億円)	<参考>
	第1四半期実績	第2四半期	上期	上期予想		
エレクトロニクス・アプリケーションズ	365	385	750	800	△ 50	806
デザイン・マテリアルズ	1,688	1,862	3,550	3,500	50	3,268
機能成形	1,173	1,277	2,450	2,400	50	2,206
機能化学	515	585	1,100	1,100	0	1,062
ヘルスケア	1,252	1,188	2,440	2,400	40	2,518
医薬品	1,022	968	1,990	1,950	40	2,046
診断検査・医薬原体	230	220	450	450	0	472
ケミカルズ	2,187	2,263	4,450	5,000	△ 550	4,353
基礎化学品	1,474	1,526	3,000	3,550	△ 550	3,188
炭素	713	737	1,450	1,450	0	1,165
ポリマーズ	1,781	1,879	3,660	4,050	△ 390	3,627
ポリオレフィン及びその他合成樹脂	1,039	1,071	2,110	2,500	△ 390	2,305
MMA及びアクリル樹脂	742	808	1,550	1,550	0	1,322
その他	451	599	1,050	1,050	0	1,075
合計	7,724	8,176	15,900	16,800	△ 900	15,647

※セグメント中の内訳は、説明を目的とした概算値であります。

以上



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 4188 URL <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 喜光
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 高阪 肇 TEL (03)6414-4870
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	772,447	△0.5	59,803	△1.7	61,587	3.0	24,467	0.0
23年3月期第1四半期	776,164	41.2	60,838	—	59,773	—	24,457	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 49,499百万円 (61.6%) 23年3月期第1四半期 30,628百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	16	59	15	35
23年3月期第1四半期	17	82	16	40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,282,542	1,149,157	24.0
23年3月期	3,294,014	1,114,003	23.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 790,415百万円 23年3月期 758,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	5 00	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	1,590,000	1.6	96,000	△13.8	94,000	△11.6	36,000	△18.1	24	41
通期	3,490,000	10.2	221,000	△2.4	220,000	△1.7	90,000	7.7	61	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 除外 1 社 (ユカ・セラヤ社)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年 3 月期 1 Q	1, 506, 288, 107 株	23年 3 月期	1, 506, 288, 107 株
--------------	--------------------	----------	--------------------

② 期末自己株式数

24年 3 月期 1 Q	31, 986, 638 株	23年 3 月期	31, 970, 460 株
--------------	----------------	----------	----------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年 3 月期 1 Q	1, 474, 312, 605 株	23年 3 月期 1 Q	1, 371, 840, 614 株
--------------	--------------------	--------------	--------------------

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【添付資料】

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	・・・・・・・・ P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	・・・・・・・・ P. 6
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	・・・・・・・・ P. 6
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	・・・・・・・・ P. 7
3.	四半期連結財務諸表等	
(1)	四半期連結貸借対照表	・・・・・・・・ P. 8
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	・・・・・・・・ P. 10
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・・・・・・・・ P. 12
(4)	継続企業の前提に関する注記	・・・・・・・・ P. 14
(5)	セグメント情報	・・・・・・・・ P. 14
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	・・・・・・・・ P. 14

(説明資料) 平成 24 年 3 月期 第 1 四半期連結決算概要

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般の概況)

当第 1 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日：以下同じ）における日本経済は、本年 3 月に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動に上向きの動きが見られ、また、設備投資や個人消費が下げ止まりつつあるなど、景気に持ち直しの動きが見られました。

当社グループの事業環境につきましては、機能商品分野及び素材分野においては、原燃料価格が上昇傾向にある中で、震災による顧客の生産活動の停滞に加え、円高傾向が継続するといった厳しい事業環境でしたが、一方、ヘルスケア分野においては、震災の影響はあったものの、医療費抑制基調のもとで需要が堅調に推移し、概ね良好な事業環境でした。このような中で、当社グループは、震災により被災した三菱化学(株)鹿島事業所等の製造拠点の早期復旧に努め、当第 1 四半期において概ね生産を再開しました。

このような状況下、当社グループの当第 1 四半期連結業績につきましては、素材分野の海外事業が好調に推移したこともあり、売上高は 7,724 億円（前期比 38 億円減（ $\Delta 0.5\%$ ））と前年同期並みとなりました。利益面では、営業利益は 598 億円（同 10 億円減（ $\Delta 1.7\%$ ））、経常利益は 616 億円（同 18 億円増（ $+3.0\%$ ））、当期純利益は、震災による特別損失の計上もあり、245 億円（同 0 億円増（ $+0.0\%$ ））となりました。

(分野別の概況)

機能商品分野

① エレクトロニクス・アプリケーションズセグメント

(記録材料、電子関連製品、情報機材)

記録材料は、フラッシュメモリー製品の販売数量が増加したものの、DVD 及び外付けハードディスクの販売数量が減少し、また、総じて販売価格が低下したことにより、売上げは大幅に減少しました。電子関連製品は、ディスプレイ材料の販売数量の減少により、売上げは大幅に減少しました。情報機材は、OPC 及びトナーの販売が順調に推移したものの、円高の影響により、売上げは減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 365 億円（前年同期比 75 億円減（ $\Delta 17.1\%$ ））となり、営業利益は、1 億円（同 28 億円減（ $\Delta 96.6\%$ ））となりました。

当第 1 四半期に当セグメントにて実施又は発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱化学(株)が、三菱化学メディア(株)及びその子会社であるバーベイタム社を通じて、世界初の調色/調光型有機 EL 照明パネル「VELVE™」のサンプルキットの販売を開始し、7 月から光源モジュールを販売することを発表。（4 月）

- ・三菱化学(株)が、パイオニア(株) (本社：神奈川県川崎市) と共に、下地層に加えて発光層も塗布プロセスで成膜した有機 EL 素子において、白色輝度 1,000cd(カンデラ)/m² における世界最高水準の発光効率と輝度半減寿命を達成。(5月)
- ・三菱化学メディア(株)が、Verbatim® (バーベイタム) ブランドによる3段階調光機能付き LED 電球の日本での販売を7月から開始することを発表。(6月)
- ・三菱化学メディア(株)の子会社であるバーベイタム社(アメリカ)は、ブラジルにおいて商標権侵害訴訟の提起を受け、同社はブラジリアの連邦高等裁判所に特殊上訴を行い審理を求めていたが、本年6月、同連邦高等裁判所が、商標権侵害訴訟を却下するとともに、下級審判決により損害額が公示された損害額算定訴訟についても却下する旨の判断を下した。但し、今後、原告からの反論や形式的な請求の申し立ての可能性を完全に否定することはできない。(6月)

② デザインド・マテリアルズセグメント

(食品機能材、電池材料、精密化学品、樹脂加工品、複合材、無機化学品、化学繊維)

食品機能材は、順調に推移しました。電池材料は、販売価格は低下しているものの、需要の緩やかな回復に加え、震災による代替需要も寄与し、売上げは増加しました。精密化学品は、前年同期並みに推移しました。樹脂加工品は、ポリエステルフィルム of 欧米を中心とした販売数量の増加及び販売価格の是正に加え、エンジニアリングプラスチック関連製品及びライフライン関連製品等の販売数量の増加により、売上げは増加しました。複合材のうち炭素繊維等の産業資材は、需要が堅調に推移し、売上げは増加しました。無機化学品は、震災による販売数量の減少により、売上げは大幅に減少しました。化学繊維は、順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 1,688 億円 (前年同期比 71 億円増 (+4.4%)) となり、営業利益は 100 億円 (同 1 億円増 (+1.0%)) となりました。

当第 1 四半期に当セグメントにて実施又は発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱レイヨン(株)の子会社である MRC-SGL プレカーサー(株)が、三菱レイヨンの大竹事業所(所在地：広島県大竹市)において、ポリアクリロニトリル (PAN) 系炭素繊維原料のプレカーサーの量産を開始 (今後 3 年間で生産規模を年産 7,000 トンまで拡大予定)。(4月)
- ・三菱樹脂(株)が、同社の坂出工場 (所在地：香川県坂出市) におけるアルミナ繊維「MAFTEC®」の製造設備の増設を発表 (生産能力：年産 4,800 トンから年産 5,600 トンへ増強)。(4月)
- ・三菱レイヨン・クリンスイ(株)が、三菱化学メディア(株)の子会社であるバーベイタム社の販売網を活用し、家庭用浄水器「クリンスイ®」のオーストラリアとニュージーランドでの販売を開始。(5月)
- ・三菱化学(株)が、ステラケミファ(株) (本社：大阪市中央区) とリチウムイオン電池用電解液の主原料である電解質の欧米における製造拠点の新設等を含む事業提携の検討に着手することに合意。(6月)

ヘルスケア分野

① ヘルスケアセグメント

(医薬品、診断製品、臨床検査)

医薬品は、抗ヒト TNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」、アレルギー性疾患治療剤「タリオン」、選択的 β 1遮断剤「メインテート」などの販売が順調に推移しましたが、震災の影響による前期末の一時的な受注増の反動等により、売上げは減少しました。また、診断製品及び臨床検査は、前年同期並みとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,252億円(前年同期比70億円減(△5.2%))となり、営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したこと等もあり、247億円(同43億円減(△14.9%))となりました。

当第1四半期に当セグメントで実施又は発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・田辺三菱製薬(株)が、「メインテート®」について、慢性心不全の効能・効果の追加承認を取得。(5月)
- ・田辺三菱製薬(株)が、同社の子会社である天津田辺製薬有限公司及びタナベ インドネシア社を通じ、アレルギー性疾患治療剤「ベポタスチンベシル酸塩」(日本での販売名:「タリオン®」)の中国及びインドネシアでの販売を開始。(5月)
- ・田辺三菱製薬(株)が、同社の子会社である(株)ベネシスと日本赤十字社(本社:東京都港区)の血漿分画事業部門との統合に向け、日本赤十字社と検討を開始することに合意。(6月)

なお、本年1月に田辺三菱製薬(株)の子会社である田辺三菱製薬工場(株)足利工場において、製品の出荷に係わる品質試験の一部不実施が明らかになり、本年7月19日に、同工場は、栃木県より医薬品製造業について10日間の業務停止を命ぜられ、田辺三菱製薬(株)は同日、厚生労働大臣より改善命令を受けました。

素材分野

① ケミカルズセグメント

(基礎石化製品、化成品、合成繊維原料、炭素製品)

石油化学製品の基礎原料であるエチレンの生産量は、三菱化学(株)鹿島事業所のエチレンプラントが震災により停止した影響により11万3千トンと前年同期を51.3%下回りました。基礎石化製品及び化成品は、原燃料価格上昇に伴い、販売価格の是正を実施したものの、震災による販売数量の大幅な減少により、売上げは大幅に減少しました。合成繊維原料は、テレフタル酸の市況の大幅な上昇等により、売上げは大幅に増加しました。炭素製品のうちコークスは、原料炭の価格上昇に伴う販売価格の是正等により、売上げは大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 2,187 億円（前年同期比 114 億円増 (+5.5%)）となり、営業利益は、テレフタル酸の原料と製品の価格差の大幅な拡大に加え、原燃料価格の上昇に伴う在庫評価損益の改善等もあり、160 億円（同 39 億円増 (+32.9%)）となりました。

当第 1 四半期に当セグメントで実施又は発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱化学(株)が、震災により停止していた同社の鹿島事業所（所在地：茨城県神栖市）の第 2 エチレンプラントを 5 月 20 日より、また、第 1 エチレンプラントは定期修理を経て 6 月 30 日より、それぞれ稼動を再開。（5 月、6 月）

② ポリマーズセグメント

（合成樹脂）

合成樹脂は、MMA モノマーの市況が大幅に上昇し、販売数量が増加したものの、震災によるポリオレフィン等の販売数量の大幅な減少により、売上げは前年同期並みとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 1,781 億円（前年同期比 17 億円減 (Δ 0.9%)）となり、営業利益は、原燃料価格の上昇に伴う在庫評価損益の改善等もあり、114 億円（同 20 億円増 (+20.9%)）となりました。

当第 1 四半期に当セグメントで実施又は発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱化学(株)が、生分解性プラスチック (GS Pl1a[®]) の海外事業展開に向け、タイ石油公社（本社：タイ王国・バンコク市）と合弁会社を設立したことを発表。（4 月）
- ・三菱化学(株)が、生分解性プラスチック (GS Pl1a[®]) の植物原料化に向け、植物由来のコハク酸の供給、研究開発及び製造について、BioAmber社（本社：カナダ・モントリオール市）及び同社に出資している三井物産(株)（本社：東京都千代田区）と提携したことを発表。（4 月）
- ・三菱化学(株)が、Genomatica社（本社：米国・サンディエゴ市）と、植物原料から 1,4 ブタンジオール等の化学品を生産する技術を共同で研究開発すること等について合意。（4 月）
- ・三菱化学(株)が、タイ王国において、塩ビコンパウンド製造設備の増設（年産能力：年産 15,000 トンから年産 19,000 トンへ増強）を発表。（5 月）
- ・三菱化学(株)が、オレフィン系熱可塑性エラストマー及び接着性樹脂について、中国における製造設備の新設（生産能力：年産 4,500 トン）及び米国における製造設備の増強（生産能力：年産 9,200 トンから 11,000 トンへ増強）を発表。（5 月）
- ・三菱レイヨン(株)が、サウジ基礎産業公社（本社：サウジアラビア王国・リヤド市）との間で、サウジアラビア国内に MMA モノマー（生産能力：年産 25 万トン）及びアクリル樹脂成形材料（生産能力：年産 4 万トン）を製造する合弁会社設立を目的とする契約を締結することに合意。（5 月）

その他

(エンジニアリング、運送及び倉庫業他)

エンジニアリング事業は、外部受注の減少により、売上げは減少しました。物流事業は、震災の影響もあり、売上げは減少しました。また、上記以外の事業については、一部の購入転売事業の終了等により、売上げは減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 451 億円（前年同期比 61 億円減（△11.9%））となりましたが、営業利益は、2 億円の損失（同 2 億円増（-））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は、原燃料価格の上昇に伴い、たな卸資産が増加した一方で、グループ内の余裕資金を有利子負債の削減にあてたことに伴い有価証券等が減少したこと等により、3 兆 2,825 億円（前期末比 115 億円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 11 日に公表しました平成 24 年 3 月期の連結業績予想を修正しました。医薬品事業の第 1 四半期の収益が当初想定を上回ったこと、及び東日本大震災の影響が縮小すると見込まれること等から、第 2 四半期連結累計期間の業績が前回発表予想に比べ増益となる見込みです。また、第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正をうけ、通期の業績予想についても修正いたします。

①第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	1,680,000	81,000	79,000	26,000	17 円 63 銭
今回修正予想 (B)	百万円	1,590,000	96,000	94,000	36,000	24 円 41 銭
増減額 (B-A)	百万円	▲90,000	15,000	15,000	10,000	
増減率	%	▲5.4	18.5	19.0	38.5	
(ご参考) 前年同期実績 (平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間)	百万円	1,564,658	111,393	106,388	43,976	32 円 04 銭

②通期連結業績の修正

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	3,580,000	206,000	205,000	80,000	54 円 26 銭
今回修正予想 (B)	百万円	3,490,000	221,000	220,000	90,000	61 円 04 銭
増減額 (B-A)	百万円	▲90,000	15,000	15,000	10,000	
増減率	%	▲2.5	7.3	7.3	12.5	
(ご参考) 前年同期実績 (平成 23 年 3 月期)	百万円	3,166,771	226,493	223,899	83,581	58 円 72 銭

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であったユカ・セラヤ社は、平成 23 年 6 月に清算終了したことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,195	133,964
受取手形及び売掛金	597,189	597,015
有価証券	84,798	40,583
商品及び製品	294,645	309,995
仕掛品	28,492	33,674
原材料及び貯蔵品	161,924	177,822
その他	101,897	114,977
貸倒引当金	△ 2,482	△ 2,580
流動資産合計	1,396,658	1,405,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	294,122	296,860
機械装置及び運搬具（純額）	445,574	455,643
土地	261,285	258,555
その他（純額）	87,388	70,936
有形固定資産合計	1,088,369	1,081,994
無形固定資産		
のれん	154,844	151,664
その他	71,997	71,306
無形固定資産合計	226,841	222,970
投資その他の資産		
投資有価証券	363,472	356,800
その他	221,627	218,155
貸倒引当金	△ 2,953	△ 2,827
投資その他の資産合計	582,146	572,128
固定資産合計	1,897,356	1,877,092
資産合計	3,294,014	3,282,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年 3月31日)	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成23年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	378,411	408,744
短期借入金	326,564	301,736
1年内償還予定の新株予約権付社債	70,048	70,027
未払法人税等	26,879	15,236
賞与引当金	38,867	28,064
災害損失引当金	15,564	12,280
その他の引当金	16,780	16,875
その他	272,460	239,282
流動負債合計	1,145,573	1,092,244
固定負債		
社債	155,000	155,000
新株予約権付社債	70,000	70,000
長期借入金	602,977	611,986
退職給付引当金	125,724	125,353
訴訟損失等引当金	9,975	8,361
その他の引当金	16,851	16,985
その他	53,911	53,456
固定負債合計	1,034,438	1,041,141
負債合計	2,180,011	2,133,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	317,582	317,587
利益剰余金	451,934	471,193
自己株式	△ 10,758	△ 10,769
株主資本合計	808,758	828,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,216	2,374
繰延ヘッジ損益	△ 738	△ 844
土地再評価差額金	1,426	1,426
為替換算調整勘定	△ 52,378	△ 36,806
在外子会社の年金債務調整額	△ 4,037	△ 3,746
その他の包括利益累計額合計	△ 50,511	△ 37,596
新株予約権	696	690
少数株主持分	355,060	358,052
純資産合計	1,114,003	1,149,157
負債純資産合計	3,294,014	3,282,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	776,164	772,447
売上原価	581,650	576,047
売上総利益	194,514	196,400
販売費及び一般管理費		
販売費	31,654	30,204
一般管理費	102,022	106,393
販売費及び一般管理費合計	133,676	136,597
営業利益	60,838	59,803
営業外収益		
受取利息	714	540
受取配当金	2,045	2,403
持分法による投資利益	4,049	5,266
為替差益	—	167
デリバティブ評価益	1,135	—
その他	2,610	1,807
営業外収益合計	10,553	10,183
営業外費用		
支払利息	4,204	3,903
為替差損	3,683	—
出向者労務費差額	818	2,062
その他	2,913	2,434
営業外費用合計	11,618	8,399
経常利益	59,773	61,587
特別利益		
投資有価証券売却益	138	1,821
受取和解金	—	1,515
事業譲渡益	1,077	—
その他	323	1,365
特別利益合計	1,538	4,701
特別損失		
東日本大震災による損失	—	6,668
減損損失	117	2,923
投資有価証券評価損	1,610	1,723
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,511	—
その他	3,813	1,107
特別損失合計	7,051	12,421
税金等調整前四半期純利益	54,260	53,867
法人税、住民税及び事業税	12,622	13,538
法人税等調整額	6,239	4,848
法人税等合計	18,861	18,386
少数株主損益調整前四半期純利益	35,399	35,481
少数株主利益	10,942	11,014
四半期純利益	24,457	24,467

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,399	35,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 11,701	△ 3,033
繰延ヘッジ損益	△ 852	△ 92
為替換算調整勘定	7,490	15,684
在外子会社の年金債務調整額	193	291
持分法適用会社に対する持分相当額	99	1,168
その他の包括利益合計	△ 4,771	14,018
四半期包括利益	30,628	49,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,488	37,603
少数株主に係る四半期包括利益	10,140	11,896

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	54,260	53,867
減価償却費	35,561	35,095
のれん償却額	3,107	3,102
受取利息及び受取配当金	△ 2,759	△ 2,943
持分法による投資損益(△は益)	△ 4,049	△ 5,266
為替差損益(△は益)	2,968	86
支払利息	4,204	3,903
売上債権の増減額(△は増加)	3,862	5,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,126	△ 33,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 5,382	25,054
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 1,288	2,191
その他	3,013	△ 3,085
小計	95,623	84,430
利息及び配当金の受取額	3,626	6,330
利息の支払額	△ 3,642	△ 3,801
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△ 19,933	△ 28,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,674	58,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 4,700	△ 624
定期預金の払戻による収入	8,503	5,153
有価証券の取得による支出	△ 5,523	△ 18,897
有価証券の売却及び償還による収入	29,487	39,100
有形固定資産の取得による支出	△ 24,139	△ 26,831
有形固定資産の売却による収入	586	1,659
投資有価証券の取得による支出	△ 25,940	△ 294
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,240	3,685
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	1,362
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△ 94	-
貸付けによる支出	△ 803	△ 769
貸付金の回収による収入	134	165
その他	△ 420	1,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,669	5,414

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,372	△ 13,473
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△ 35,000	△ 50,000
長期借入れによる収入	20,387	13,275
長期借入金の返済による支出	△ 28,630	△ 15,865
社債の償還による支出	△ 10,000	-
配当金の支払額	△ 5,491	△ 7,380
少数株主への配当金の支払額	△ 4,939	△ 9,223
その他	△ 138	△ 67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 54,439	△ 82,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,059	2,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,493	△ 16,198
現金及び現金同等物の期首残高	112,591	143,747
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	774	656
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,872	128,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エレクトロニクス・アプリケーションズ	デザイン・マテリアルズ	ヘルスケア	ケミカルズ	ポリマーズ	計				
売上高										
外部顧客への売上高	43,983	161,755	132,158	207,287	179,790	724,973	51,191	776,164	-	776,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,032	4,868	521	33,618	20,081	60,120	34,034	94,154	△ 94,154	-
計	45,015	166,623	132,679	240,905	199,871	785,093	85,225	870,318	△ 94,154	776,164
セグメント利益又は損失(△)	2,917	9,912	29,018	12,058	9,405	63,310	△ 391	62,919	△ 2,081	60,838

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,081百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,177百万円及びセグメント間消去取引96百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 4 主にケミカルズ及びポリマーズセグメントの国内連結子会社(平成22年3月30日付で連結子会社となった三菱レイヨン(株)及び同社の子会社を除く)は減価償却の方法を定額法に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益がケミカルズセグメントで1,604百万円、ポリマーズセグメントで805百万円、それ以外で698百万円多く計上されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エレクトロニクス・アプリケーションズ	デザイン・マテリアルズ	ヘルスケア	ケミカルズ	ポリマーズ	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,466	168,794	125,252	218,705	178,130	727,347	45,100	772,447	-	772,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	952	8,300	544	27,763	18,994	56,553	34,017	90,570	△ 90,570	-
計	37,418	177,094	125,796	246,468	197,124	783,900	79,117	863,017	△ 90,570	772,447
セグメント利益又は損失(△)	98	10,014	24,684	16,022	11,372	62,190	△ 194	61,996	△ 2,193	59,803

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,193百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,711百万円及びセグメント間消去取引518百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。